

話し合いのポイント

1. 元気なうちから 家族・友人などと話し合おう

「これからの人生でやってみたいこと」のほか、元気なときだからこそ、気楽に「もしも」の話をしてみましょう。もしも重大な病気になったり、要介護状態になったりしたときはどう過ごしたいのか、日頃から周囲の人と話し合っておくことで、将来、医療・介護関係者とのACPを始めるとき自分の考えを伝えやすくなります。

2. 体調に不安があるときは 医療・介護関係者と話し合おう

自分の現在の健康状態や、今後の体調の見通しなどについては、「かかりつけ医」など身近にいる医療・介護の専門家に相談すると良いでしょう。専門家としての意見をしっかり聞いた上で、自分が不安に思っていることや、今後の医療・ケアに関する希望を率直に伝えることで、より良いACPを行うことができます。

お知らせ

これからのことを考える上で役立つDVDを、無料で貸出しています。

DVD「最期まで自分らしく」シリーズ

第1弾「伝えよう、あなたの思い」(47分)

第2弾「“もしも”に備えて話し合おう」(58分)

第3弾「ももっちと考えよう、これからのこと」(5分×全5話)

- * 申込は電話または専用のFAX用紙で!
- * DVDの貸出・返却にかかる送料は不要!

詳しくは
岡山県ホームページで

注意事項 ・営利目的の使用など、貸出をお断りする場合があります。詳しくはお問い合わせください。
・DVDの貸出は、2021年3月末日をもって終了いたしますので、あらかじめご了承ください。

<このパンフレットに関するお問い合わせ先>

岡山県庁 保健福祉部 医療推進課

〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号

電話 086-226-7321 FAX 086-224-2313

平成31年2月発行



最期まで自分らしく

ももっちと考えよう、 これからのこと



岡山県